

12月19日(月)

神に耳を傾ける

聖書朗読 Iサムエル 3:1~10、19

そのうちに主が来られ、そばに立って、これまでと同じように、「サムエル。サムエル」と呼ばれた。サムエルは、「お話してください。しもべは聞いております。」と申し上げた。
Iサムエル3:10

神は、様々な方法で、そして、色々な場面で私たちに語りかけられます。サムエルが「しもべは聞いております。」と神に答えるように、エリに言われるまで、神はサムエルに3回にわたって語りかけられました。第一列王記19章の中で、神は、激しい大風、地震、そして、火を通してエリヤにご自身の存在を現されました。エリヤの注意を引くと、神はエリヤに優しく語りかけられました。

詩篇19章によると、神は自然を通して私たちに語りかけられます。「天は神の栄光を語り告げ、大空は御手のわざを告げ知らせる。」夜空を眺める時にも、海に耳を傾ける時にも、山を見回す時にも、私達は神の存在を感じる事ができます。

神は現された御心を通して語られると、詩篇19章は私たちに教えてくれます。人生における全ての場面において、私たちは神の御言葉の中に神からのメッセージを見出すことができます。

神は、今現在においても、信頼できる友人、伝道者、カウンセラーなどを通して私たちに語りかけられます。神は、私たちの人生における試練の時にも、私たちに語りかけられます。神は、重い病気や離婚、失業などを経験している時にも私たちに語りかけられます。

私たちは、神の声を聞くべき時に、神に耳を傾けず話していることがあるのではないのでしょうか。神様の語り掛けていることばを聞きましょ。

讃美歌 453

祈り 親愛なる神様。人生における全ての場面において、私たちがあなたの御声を聞けるように教えてください。私たちが静まってあなたが神であることを知ることができるよう助けてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 ナッシュビル
ケン・スコット

今日のカ

2022年12月19日~12月25日

翻訳 ハイステン・悦子
(スウィーニーキリストの教会)

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

12月20日(火)

神の全体像を見つめる

聖書朗読 I列王記 21:1~15

御霊による思いは、いのちと平安です。

ローマ 8:6

スーパーの駐車場で“彼女の駐車スペース”を奪われた女性が、相手を侮辱した話を聞きましたか？

何かに対して苛立つことはありますか？その日一日を台無しにしてしまうほど、何かに腹を立てることはありますか？それは、あなたを不安にさせたり、悲観的な気持ちにさせるに値する程の出来事でしたか？多分そうではないでしょう。

アハブは、イスラエルの王としての全ての権力と栄光を手にしていましたが、ナボテがぶどう畑を売らないというだけの理由で、食事もできないほどに機嫌を損ね、意気消沈してしまいました。アハブは、間違いなく沢山のぶどう畑を持っていましたが、もう一つのぶどう畑を手に入れたかったのです。アハブの寛容さを欠いた心は、ナボテの命を奪うという卑劣な行為を招きました。

私たちは、神が全てをコントロールされ、”神を愛する人々のために、すべてのことを働かせて益としてくださる”ことを知っています。(ローマ 8:28) 神にある平安は、日々の生活において神に従うことによって体験できるものです。神は、長い人生の旅路を通して、常に私たちと共にいてくださいます。日々のトラブルは過ぎ去って行きますが、神の支配と約束は永遠です。

聖歌 496

祈り 親愛なる神様。あなたが私たちを愛し気にかけてくださっているという、素晴らしい祝福をいつも覚えていられますように。アーメン。

テネシー州 ナッシュビル
ケビン・レイチェル

12月21日(水)

一人の人の力

聖書朗読 ネヘミヤ 5:13

私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです。 エペソ 6:12

ユダの貴族や役人が、貧しく税金や借金を払えない人々から畑やぶどう畑、オリーブ園や家を奪っていることを知った時、ネヘミヤは、金持ちの政治的指導者を集めて、酷い高利貸しだと非難しました。感情的にネヘミヤは、人々から奪ったものを返すように彼らに訴えました。ネヘミヤは、一人の人でしたが、多くの弱者の生活に祝福を与えました。

私は過去に、宣教師仲間と共に、カンボジアで心を揺り動かす講義に参加しました。講演者は、美しくも窮地に陥ったこの国で、子供たちの命を救うことに生涯を捧げた医師でした。彼は、寄付金を集め、子供達が無料で高度な医療を受けることのできる五つの病院を立ち上げました。彼と彼のスタッフは、それまでの過去20年で何百万人もの命を救ってきました。この医師も、ネヘミヤのように、高い地位にある人たちの汚職に立ち向かってきました。

弱者を助けることに情熱を持った時、一人の人が成し遂げられることは私たちの理解を遥かに超えます。神の助けがあれば、私たちは皆、この世界で貢献できます。

讃美歌 191

祈り 全能の神様。無知で自分自信を守ることの出来ない弱者に祝福を与えるために、私たちを用いて下さい。イエス様のお名前によって。アーメン。

オレゴン州 グレッシュャム
リチャード・N・アディー

12月22日(木)

御計画の中にある私たちの場所

聖書朗読 エステル 2:1~18

あなたがたが仕えようと思うものを、どれでも、きょう選ぶがよい。

ヨシュア 24:15

どうやってそこに辿り着いたのか、そこからどこに進んだらいいのか、どう考えても説明不可能。皆さんもこのような場面に直面したことがあると思います。疑問は尽きません。一体どうやってここに来たのか?このような報いを受けるなんて、自分は何をしたのか?普通に考えて、これらは正当な疑問です。

人間である私たちには、状況や出来事、大きな不幸、喪失、悲しみや痛みを理解することはできません。幸いなことに、私達には理解できなくてもいいのです。私たちが置かれた状況に落胆する時、その状況をコントロールされているのは神であることを知ることに、喜びを得ることができます。そして、信仰によって、私たちは神の御計画の啓示の一部となることができます。

クセルクセス王の宮殿に強制的に連れてこられた後、エステルもきつと、何故こんなことになったのか、自問したことでしょう。彼女は王妃になりましたが、ユダヤ人の命が脅かされた時、彼らを助けることの出来る立場となりました。神はエステルに、自分の命が危険に晒される知りながらも、行動に出る勇気を与えられました。私たちが信じて疑わない時に、神は私たちを守ってくださいます。

選ばれた人々を通して、イエスがお生まれになるという神の御計画を止めることは、誰にも不可能でした。同じように、私たちに對する神の御計画を変えることは、私達には不可能なのです。どんな事があっても、私達には神のよい御計画を信じ、忠実に前に進み、神を信じて結果を待つという選択をしなくてははいけません。

讚美歌 298

祈り 親愛なる神様。人生における全ての困難や試練の時を通してあなたを讃える勇気を与えてください。そして、私たちの人生に対するあなたの御計画を信じることの出来る、揺るぎない信仰を植え付けてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

ニューメキシコ州 グランツ
ランディー・ロバーツ

12月23日(金)

私たちに必要なのは説明ではなく啓示*である

*人に分からないことを主が指し示す。

聖書朗読 ヨブ 42:1~18

主のすばらしさを味わい、これを見つめよ。

詩篇 34:8

ヨブの痛みと苦しみは、酷く、理解しがたいものでした。そして、ヨブもまた、私たちが試練にある時と同じように、神にこのような質問をしました。「何故ですか?」

私たちは、痛みや苦しみに耐えなければならない事の意味を理解するためには、神からの説明が必要だと確信しています。ヨブも同じ気持ちでした。でも、神はヨブに説明を与えませんでした。神は、その代わりに啓示を与えられました。神は、私達にも同じことをされます。

「私が地の基を定めた時、あなたはどこにいたのか。」これは、神がヨブにされた数々の質問の一つです。そして、このような質問を通して神は、深く個人的にヨブに御自身を現されました。

ヨブの応えは、神がヨブに与えられた啓示が個人的であったことの現れです。「私はあなたのうわさを耳で聞いていました。しかし、今、この目であなたを見ました。」ヨブは、自分の目で神を見て、そして、その啓示の力は彼を変えました。

ヨブが本当に必要としていたのは、神を見ること、そして、神を知ることでした。ヨブに必要なだったのは、説明ではなく啓示でした。神に今度、「何故ですか?」と聞きたくになったら、神の啓示を見るために、目を開いていてください。

讚美歌 248

祈り 神様。あなたを見るために、私たちの目を開いてください。あなたを見る時、私たちが切望し、必要とし、欲しがる全てのものを見ることができます。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ラボック
チャック・ブライアント

12月24日(土)

落ち着いて！

聖書朗読 詩篇 1章

その人は、水路のそばに植わった木のようなだ。

詩篇 1:3

毎年夏になると、家族で山の中の、ある美しいキャンプ場にキャンプに行きます。その場所が美しいことだけでなく、その場所に対する親近感が、私たちにとってとても大切なものになりました。今年の夏、特にキャンプ場の木々にとっても親近感を覚えるようになりました。その木々は、気が知れた古い友人のように感じられました。“気が知れた友人”というのは、“見飽きた友人”という意味ではなく、“元気をくれる安心できる友人”というような意味です。大きな松の木々は、幾つもの季節や環境の変化を通り超えて、ずっと同じ場所に立っています。毎年この場所に来るたびに、この友人たちが、ゆったりとして平和なこの場所に私達を招き入れてくれることは、とてもいいものです。

詩篇一篇は、主のおしえを喜びとする人の安定と実りの豊かさを表現するために、木のイメージを用いました。この詩は、主にある道は、長い目で見ると必要とすることを教えてくれます。私たちの人生は、長年にわたって、どれだけ主に忠実であったかによって判断されます。そして、安定性は周りの人たちにとって大きな証となります。忠誠心や愛情が目まぐるしく変化するこの世の中にあって、私達の安定した信仰は、落ち着いて親しみのある場所へ何度も私達家族を招き入れてくれる松の木々のように、神のめぐみを伝える術となることができます。

讃美歌 主の教えを喜びとし

祈り 親愛なるお父様。私たちに忠実でいてくださって、ありがとうございます。私たちが今日、あなたにある平安をもっと体験するために、あなたの優しい招きを聞くことができますように。そして、私たちが変わることはない存在となって周りの人たちに祝福を与えられますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ラボック
ジェフ・キャリー

12月25日(日)

神の御言葉に思いを巡らす

聖書朗読 詩篇 1篇

主の戒めは正しくて、人の心を喜ばせ、主の仰せはきよくて、人の目を明るくする。

ローマ 9:12~13

大学を卒業した時、私は妻とカナダにある教会で働くために、引っ越しました。私は、半年もあればカナダでイエスを広められるだろうと思っていました。そして、その後は、また別の地を(宣教活動で)征服していこうと考えていました。でも、私はクリスチャン大学で聖書を学び、卒業したばかりのただの人に過ぎなかったのです。数週間も経たないうちに、私はある会話の中で屈辱を味わいました。教会に通ってもいない、ある年配の男性に出会いました。会話の最後に、彼は私に聞きました。「君はまだ若いけど、聖書を読まないのかい？」彼は聖書の通読計画書まで私に進めてきました！

この経験が私を奮い立たせました。1962年以降、ずっと私は聖書の通読計画書に沿って聖書を読んできました。毎年、私は聖書の中にそれまで気が付かなかった“宝石”を見つけます。神の御言葉は、尽きることのない富源のようなものです。掘れば掘るほど、もっと沢山見えてきます。神の御言葉を読むことと、その永遠の宝物に思いを巡らせることは、喜びを与えてくれます。それは、退屈なものではありません。それは、挑戦的なものです。それは、私達を神にある男性、神にある女性へと造り上げます。それは、罪に正面から立ち向かわせてくれます。“あなたに罪を犯させないため、私は、あなたのことばを心にたくわえました。(詩篇 119:11)” あなたは今日、神の御言葉に思いを巡らせることを選びます。

讃美歌 あなたのみことばは

祈り 親愛なる神様。あなたの御言葉に感謝いたします。それは真実に、足元を照らす灯り、私たちの道を照らす光です。御言葉に思いを巡らせていく中で、日々御言葉に導かれますように。キリスト様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 サイプレス
デイル・フォースター